

生徒感想

「金子みすゞが詩に託した思い」とは、どんなものだろう

人間で同じ人は いないから、一人一人の個性などを尊重しあ、て互いに理解できるようにしていきたい。そのためには、できないことがあれば誰かがカバーし、誰かができないければ自分がカバーしてあげるという^{こと}と思いました。

人間はひとりに良い所、悪い所があって、悪い所はっかり目をむけてしまうから 批判してしまう。だから逆に良い所にも目をむけてみると、「この子ってこんなことが得意なんだ」という新しい発見があったりするのではないかと思います。自分と周りの子と比べるんじゃなくてその子の良い所、自分の良い所、などそれぞれを認めることが大切なんじゃないかなと思いました。

たった意見がずれただけで、いじめに発展するのはちょっとおかしいかなと思いました。そこでみんな考え方もあるんだってな、とすると、分かり合えて生き方も少し変わってくるかなと思った。

この詩は昔も評価はされていたと思うけど、今こそもっと評価されるべき詩だと思います。現代は多様性が尊重される社会で、体じの性別が違ったり、同じ性別の人を好きになったり、自分の個性や素を出し人が増えてきているけど、そのことを許してまた受け入れられなかったり、その人を好きはなしたりする人がいます。この詩はそんな人たちに「みんな違うけどそれが良い所だし、考え方も人それぞれだから尊重しながら生きていく」ということを、10年という時を越えて伝えてくれている気がします。僕もこれから先、そういう個性を持った人に出会うかもしれません。でも、その人から遠ざかっていくのではなく、普通にみんなと同じように仲良く接していきたくと思います。

日本だけではなくて世界では、はたの色だけで差別があったりするからいい。めや差別は日本だけではないと思う。勉強ができてなくなると運動がとかいかもしれない。運動が苦手でも、頭を使うのは得意かもしれない。じ、ちも苦手だったとしても、性格がとっても優しかったり、字が上手だったり、歌が上手だったり、人はなにもできないという人はいないと思う。だから、もう自分はなにもできないんだ。と思うのではなく、自分の好きなこと、できるところをさがし、そこを、たぐりだんのびとていけばいいと思った。

た<さんの方が自分と人比べていて、それで嫌な
気持ちになっている人か多いと思います。だから
1人1人得意なことや苦手なことがあるから
それを理解しあって共に生きていくことが大切だ"と
いうのを伝えたかったんじゃないかなと思います。

例えば○○ちゃんも頭もいいしスポーツもできる
それに私は...。という様な思いがある人も
いると思います。他にも私はこれできるのに
○○ちゃんはやけないの、思いなど。

このようなことを思う人もいると思うけど
自分らしく、自分の長所をのびし自分の短所を
見つめ直すことが大切だ"と思いました。

詩の中にもある様にみんなちがって、みんないい、人間1人1人がもつ個性や
人格は、それぞれかけがいのない大切なものなんだということを金子さんは、この詩
を通して、伝えたいのかなと思いました。お互いがお互いを理解し合えずに
言い争いなどに発展してしまうなんてことはよくあります。そこで、なんやあいつ
とならずに、自分も悪かった。あれも相手の個性。と受けとめて認め合えるのが
一番だと思います。だからこそ、言い争いなどになってしまったときに、いじめや
差別といった方向にいくのは、本当に悲しい、残念だなと思います。小林さん
はいじめなどは「人間一人ひとり、違った個性と人格をもった大切な存在なのだ」と
いうことが理解できていないところが理由と考えていると思いますが、自分は違うと思
います。理解ができないのではなく、理解しようとしていないんだと思います。初めから
あいつが嫌いとか憎いだとかと決めつけて相手の違いを理解しようとせずに
逃げているだけなんだと思います。お互いがお互いの違いを認め合い、支えあて
いける社会や世界になればいいなと思います。